



違憲の「国葬」強行に抗議

国賠同盟奈良県本部会長 加藤 宣之

岸田内閣は国会の議決も得ず、閣議決定のみで9月27日、一方的に安倍晋三元首相の「国葬」を強行しました。私たち国賠同盟は、「国葬」の強行に断固抗議するものです。

岸田首相は「国葬」を行う理由として、安倍氏が憲政史上最長の8年8ヶ月にわたり、卓越したリーダーシップと総理大臣の重責を担ってきたこと、また日米関係を基軸とした外交の展開など様々な分野での功績をあげています。しかし、国民のなかで、安倍氏の政治的立場や政治的姿勢に対する評価は大きく分かれており、国葬を行うことは国家として安倍氏の政治的立場や政治的姿勢を賛美・礼賛することになり、これは日本国憲法第14条の「法の下」での平等、第19条が保障する「思想及び良心」の自由に反するもので、決して認めることはできません。

「国葬反対」の全国的な運動は、多くの団体の宣伝活動、シール投票、自治体に対する弔慰強要の反対の申し入れ活動が活発に行われました。

「国葬」に法的根拠もなく、惜しげもなく16億6千万円の血税が投入され、そこへ過去にも問題となった悪質な「靈感商法」、信者に対する（2面に続く）

不屈

奈良県版

No. 357

2022年10月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
奈良県本部
〒631-0033

奈良市あやめ池南1-9-27

加藤宣之気付

☎ 0742-43-0762

振替 0990-2-209460

治安維持法国賠同盟
奈良県本部

われわれの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
 - 二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
 - 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと

「旧奈良監獄保存活用事業」について

奈良市議会議員

北村たくや

旧奈良監獄(旧奈良少年刑務所)は、地域住民や「宝に思う会」などの市民運動が決定的な役割を果たし、重要文化財指定や保存活用に道が開かれました。戦前・戦中は、平和・人権・生活を守るために命を賭して闘った人々が奈良刑務所に多数収監されていたことも、同監獄・刑務所の大変な歴史です。

現在、法務省がすすめる「旧奈良監獄保存活用事業」は、重文指定された赤レンガ建物の耐震改修や「史料館」の整備運営がメインの事業(民間資金等の活用による「PFI事業」として実施)で、それに要する費用を「監獄ホテル」等の付帯事業の収益で全てまかなう枠組みで動いています。

しかし事業がこれまでに行き詰まり、SPC(旧奈良監獄保存活用株式会社)の代

表企業の変更を余儀なくされたり(現在の代表企業は星野リゾート)、当初は全館オープン予定が2020年度中だったのが24年度中に延期されるなど、計画は大幅に遅れています。赤レンガ建物の耐震改修や史料館整備には莫大な額を要すると思われるますが、全体予算も付帯事業の収益見込みも公表されていません。

私はこの問題を今年6月及び9月市議会で質問。答弁でも全く予算等を把握していないことが判明し「今年11月に工事着工予定と聞いている」と答えるのみ。また本来法務省が担うはずの旧監獄敷地内の拠点整備を、いつの間にか奈良市が行うことになっていった実態も明らかにしました。

工事発注前に地域住民に対する説明を法務省・奈良市等が揃って行うと市長が答弁したので、引き続き事業進捗や全体予算、収支計画など質してゆきます。

〈一面から続く〉

高額の献金高額の献金の強要などを行っている反社会的な集団「統一協会」と自民党との癒着問題があぶり出され、そこで「統一協会」の広告塔となった安倍晋三元首相の国葬に反対する世論が一挙に高まったものであり、岸田内閣の支持率は政権樹立後、最低を記録するに至りました。

「統一協会」と自民党の癒着は、反共主義と改憲・軍拡の推進、ジェンダー平等の否定などの一貫に基づくものであり、岸信介、福田赳夫、中曽根康弘、安倍晋三などの歴代首相をはじめ、自民党の中枢が利用、支援して来たものである。自民党のいい加減な「点検」で実態解明が出来るわけがなく、奈良県においても統一協会との関連が取り沙汰されている高市早苗経済安全保障大臣やその他の国会議員や地方自治体、地方議員での統一協会との癒着の追及解明が求められています。

中塚明著『日本と韓国・朝鮮の歴史』増補改訂版

田辺 実

歪められた歴史認識をただす

中塚明奈良女子大学名誉教授がこの8月、『日本と韓国・朝鮮の歴史』増補改訂版（高文研）を著しました。20年前の2002年に初版を刊行され、多くの方が読んでおられる著書ですが、旧版をお持ちの方にも是非お勧めしたいと思いました。

中塚先生は、「増補改訂

版あとがき」で、旧版を全面的に改稿し、「東学農民戦争について新たに書き改め」、「最近の日韓関係を念

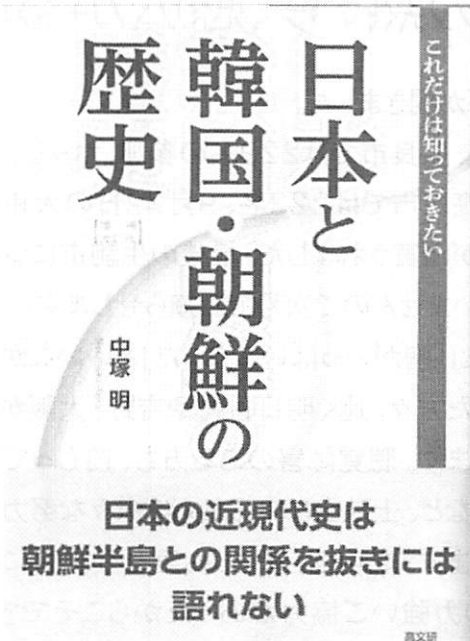
頭において、全

面的に新しく

書き直しまし

た」と述べてい

ます。



『日本と韓国・朝鮮の歴史』増補改訂版の表紙。本体価格1700円

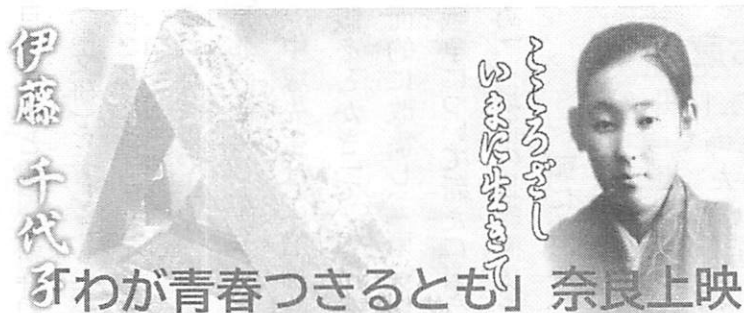
本の対外侵略の主な目的であった朝鮮侵略については、歴史的省察のメスをふるうことを拒否してきた」と述べ、「日本政府はもとより、教育の世界でも、またマスコミ・思想界、歴史学界の総体でもこうした傾向に追随」してきたと強調。「そのツケが、今日の『慰安婦問題』や『徴用工問題』についての、韓国の当事者や政府、裁判所の主張に対する日本での政府・マスコミをあげての『拒否

的、拒絶的反応』の根底に横たわっている」と指摘しています。

110年ぶりに名誉回復

その上で、中塚先生は、「長らく『東学党の乱』―“乱民”とされてきた東学農民は、この現在の民主化をたたかっている韓国人達の運動の中で、2004年110年ぶりに国会で成立した『東学農民革命参加者の名誉回復に関する特別法』によって名誉回復」したことを明らかにしています。その上で、その後の「ローソク革命」にも受け継がれていることを強調しています。

私は、旧版も何度か目を通していたものですが、今回の増補改訂版を手にし、噛んで含めるようなタッチで書かれており、引き込まれて通読しました。わが国支配層によって振りまかれていた歪められた歴史認識をただす重要な一冊として、多くの活動家を読み広げることが、力を込めて呼びかけます。



映画会あいさつ

ご来場いただきありがとうございます。

私は1945年8月29日、日本軍国主義が敗北した14日後に中国・北京で生ま

千代子への熱い共感広がる

いよいよ上映会の幕が開きました。

第1回目の9月10日、奈良市では229名の参加、ホッとしました。9月17日、大和高田市では222名、9月22日の大和郡山市では223名の方が鑑賞されました。最後の生駒市については、この号で間に合いませんので次号でお知らせします。

「涙がとまらなかった」「胸がいっぱいになった」といいながらホールから出てこられた方々。遠く明日香村や吉野、大阪から来て下さった人もあります。聴覚障害のある方も、前もって台本を読んで観られたりなど、上映会に来るために様々な努力をして頂いたのだと感じます。成功は、何よりも実行委員会に参加して下さった皆さんの力強いご協力があったからこそです。心からお礼申し上げます。

上映実行委員会事務局

れ、1945年12月に奈良市高畑町に引き揚げてきました。その後母親の出身地京都で育ちました。

小さい時分から周りの大人から「あんたらは戦争のない平和な時代に生まれて本当

に幸せやなあ。言いたいことが言える、行きたいところへも往ける、好きな事、やりたい勉強や仕事にもつける。こんなありがたいことはないのんえ」といわれて育ちました。

今やあらゆる分野に女性が進出し、仕事をしていますが、世界のジェンダー指数は、2021年の統計では日本は世界156か国中120位、先進国では最低レベル、アジア諸国では韓国・中国、アセアン諸国より遅れをとっているのはご存じの通りです。

この映画は1905年に生まれ、1929年に24歳で亡くなった伊藤千代子さんの生涯の生きざまを描いています。

彼女は日本が軍国主義に進んでいくさなか、「もっと勉強がしたい、世の中の不条理を無くしたい、周りのみんなが安心して暮らせるように、貧困と社会の不平等を無くしたい」と社会運動に身を投じました。

昭和3年3月、治安維持法で検挙され、特高警察の追及・拷問・変節の強要に説をまげず、壮絶な獄中闘争を展開します。

しかし、信頼していた夫が思想的に変節したことを契機に、拘禁精神病になり松沢病院に移送され肺炎で命を落としました。

松沢病院の野村章恒(あきちか)Drのレポートによると、【拘禁精神病者の犯罪種別では30人中治安維持法違反者が25人】と断トツで窃盗や傷害、殺人などを抜いています。拘禁が長期化し拷問が激しくなる時期と一致しているということです。

伊藤千代子さんの生きざまから私たちはどんなことが学べるでしょうか？また私たちに課せられた歴史的課題は何でしょうか？

この映画は、黒澤あきら監督の影武者や山田洋二監督の寅さんなどとは製作の過程が違っています。製作者と演者・鑑賞者が一体となつて作り上げた映画です。私たちも奈良で上映実行委員会を作り、製作を見守り協力してきました。

元前進座の名優嵐圭史さんも台本を読んで「ぜひ出演させてくれ」と頼み込み、名

もなき老人役で出ているそうです。素人のボランティアエキストラは188名とか。しかもコロナ禍の真っ最中。さてどのような映画に仕上がっているのでしょうか。ワクワクですね。

ではごゆっくり鑑賞ください。

(映画上映実行委員長 宮城恭子)

※9月10日 奈良市ならまちセンターにて…会場でのあいさつ

“わが青春つきるとも”

「伊藤千代子の生涯」を観て

「赤旗の歌」を共に 声をだしてうたう

拷問、激しい咳、血痰、そして肺結核に感染。呼吸困難に。

壁をつたつてさしあげた手のひらがゆっくりと壁をすべりながら降りていった瞬間、涙が溢れました。そして、24歳、若き伊藤

千代子の命を奪った絶対的天皇制政治への激しい怒りが。

治安維持法に反対し命がけで戦った人々の青春群像に感動しました。

残酷な拷問シーンが多く、観ていて怒り彷彿。しかし獄中での必死の会話、散歩中の紙切れでの情報交換、そして6人での力強い「赤旗の歌」の合唱。感動し久しぶりに声を出して一緒に歌いました。

小林多喜二、山本宣治、そして伊藤千代子。私たちが存じ上げない幾十万人の闘いが基礎に戦争が終わり、憲法が成立した。

あれから90年余、「平和憲法」を蔑ろにしようとする有権者を騙し、虚偽と隠蔽に満ちた政治を推し進めようとする自公・維新政治。

伊藤千代子から私たちへのメッセージが聞こえてきます。

「ふたたび戦争と暗黒政治を許さず、希望ある未来を拓くために頑張りましょう！」この映画の製作に当たられた皆様、そして

製作に協力されました皆様に心からの感謝です。

(社会医療法人健生会名誉理事長 稲次直樹)

※9月17日 大和高田市奈良県

産業会館にて

千代子の揺るぎない 生き方に心打つ

先ずはオープニングのトランペットによる「赤旗」——もうこれだけでも胸が熱くなりドキドキしました。私は20代初め、1970年代初めですが、社会人として働き始めると同時に、組合運動に飛び込参加は自分が壇上にて歌い鼓舞するというのが労働者としての活動の始まりでした。その頃全国的にも労働運動が盛んであり各首長選挙でも民主的政党による統一戦線が実を結び、革新府市政が誕生した。一方、伊藤千代子の映画を通して見たこの時代は、より鮮明に浮かび上がるあまりの理不尽さ、共産主義思想への全国的弾圧、加えて女

性にとつては性的にも辱められる屈辱にあつて、それでも特高に屈しない、仲間を大事に、と言う千代子のあまりにも痛々しい精神力はすごいと簡単に言えることではないと思う。国家権力の恐怖、天皇制の威圧を見せつけられました。どんなに拷問されても屈しなかったのに、夫の転向を伝えられ心の支えまでも奪われてしまう悲劇であるけれど、心を支えたのはマルクスやエンゲルスの科学的な物の見方や、理論を学び理解し得心できていたからこそ、ゆるぎない生き方ができたのだらうと思いました。どんなことがあろうと惑わされず正しく見る科学的な目を育てることが大切なあらうと思うし、偏見や因習などにとらわれず正しく学ぶことだらうと思う。

「インターナショナル」や「赤旗」のうた、革命の英雄気分で歌っていたことが今更ですが恥ずかしくなりました。

(奈良県本部常任理事 田中澄江)

※やまと郡山城ホールにて

第31回全国女性交流集会開催要項

■日時:

11月6日(日) 12時30分受付開始、13時開会
7日(月) 9時から分散会、12時閉会

■場所:

静岡県熱海市泉107「ニューウエルシティ湯河原」

■費用:

交通費、宿泊費は県本部が負担します
申し込み締め切りは10月25日

◇川柳◇

大和郡山支部 杉本英雄
「国葬」に あれ? ミヤンマー、ロシア
をご招待?

安倍政治の 闇に蓋する「国葬」劇
生活の 苦しさよそに16・6億円

長谷川テル顕彰の会への募金のお礼

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部

会長 加藤 宣之 様

お礼

日頃は、奈良・長谷川テル顕彰の会の活動にご協力頂き心からお礼申し上げます。

8月には第1次募金として多額の募金をいただき、また、この度も第2次募金として多大な募金をいただき、感謝に堪えません。

ここに、第2次分の領収証をお届けいたします。

9月に入り、コロナの第7波の感染拡大は収まってきたものの、台風の被害や物価の高騰など、市民生活の不安と圧迫は収まりません。加えて、旧統一教会と自民党政権との癒着が次々と明らかになり、閣議決定による、法的根拠のない安倍晋三氏の国葬が世論の反対にもかかわらず強行されようという理不尽な政治が続いています。

そのような中でも、貴国賠同盟奈良県本部は、「わが青春つきるとも」の上映活動に精力的に取り組み、当会の募金活動にも熱心に取り組んでいただいていることに敬意を表します。

長谷川テル顕彰碑建立の募金総額は、8月末についに当初の目標の200万円に到達しました。しかし、顕彰碑建立の計画が具体化する中で、資金の増額が必要なことから、引き続き募金活動は続けることとしています。顕彰碑の建立だけでなく、長谷川テル顕彰事業は、まだいくつもの取り組むべき課題を残しています。なお一層奮闘し、さらなるご協力をいただき、「碑」の建立を実現すると共に、市民レベルの日中友好・不再戦・北東アジアの平和への貢献のために頑張っていきたいと思います。

とりいそぎ、敬意と謝意を表します。草々

2022年9月26日

奈良・長谷川テル顕彰の会

会長 宮城恭子

署名数・会員数の到達

(九月三〇日現在)

団体署名 一(前月比増減なし)

個人署名 七〇(前月比増二〇)

会員数 四〇一(前月比減一)

増一(九・一〇上映会一名入会)

減二(九・二二に会員二名死亡)

2022年度治安維持法陪同盟
近畿ブロック会議要綱

日時:1日目 11月8日(火)13:00~17:00

第1部 全体会議、記念講演、基調報告

第2部 懇親会(18:00~)

2日目 11月9日(水)9:00~12:00

分散会と全体会議

場所:和歌山市吉田 432(JR和歌山駅から徒歩6分)

「ホテル、シティイン ワカヤマ」4階

費用:初日の懇親会参加者のみ個人負担6000円

季節の
言の葉

反戦の 業火となれり 曼殊沙華

曼殊沙華の紅の花、戦争反対の燃えさかる火のようで、
いや反対どころか呪うようすごい迫力を感じる。

編集後記

報道各社の世論調査で、岸田内閣の支持率下落が続いています。内閣支持率は42.7%と発足以来最低を記録、不支持率は53.9%(JNN)でした。国葬問題、統一協会、物価高騰どれをとっても、国民にとって評価できるものではありません。「国葬にあればお金をかけるなら、少しは国民のくらしにまわしてと想うのは当然やろ」街頭インタビューに吐き捨てるように話した声が耳に残ります。

岸田さん、あなたが首相を務めるこの国には、ささやかな小さなお葬式さえあげることが出来ない家がたくさんある事をご存じですか。国民の声を聞いても応じる姿勢がない岸田政権。「朝から晩まで働いても、満足にご飯が食べられない貧しい人たち、一方で贅沢している人たち……この不公平な社会を何とかよい社会にしたい」100年前の伊藤千代子の叫びに、こぶしを握りしめ、応えていこうと想うのです。

E・I